

令和6年度第2回学校運営協議会議事録

日時 令和6年10月26日

時間 15:45~17:00

(出席者 敬称略)

【委員】

- 内川 隆 (本校同窓会長)
 - 河原 克宣 (桐蔭横浜大学スポーツ科学部客員教授)
 - 佐々木得人 (本校PTA会長)
 - 鈴木 秀幸 (青葉区市ケ尾町在住、大場町自治会)
 - 竹下 恭子 (横浜市立市ケ尾中学校長)
 - 藤岡 歩 (あおば支援学校長)
 - 田中 俊穂 (本校校長)
- (欠席者)
- 飯島 正徳 (東京都市大学理工学部自然科学科教授)
 - 佐藤やよい (横浜市青葉区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長)

【事務局】

- 河合 義昭 (本校副校長)
- 森 知都 (同 教頭)
- 齊通 勇 (同 事務長)
- 酒井 脩生 (同 学校運営協議会担当)
- 齋藤久美子 (同 学校運営協議会担当)

【本校各グループリーダー】

- 吉居 英明 (本校 カリキュラム開発グループリーダー)
- 本屋敷隆裕 (同 キャリア支援グループリーダー)
- 岡 豊 (同 生徒会支援グループリーダー)
- 杉本 綾 (同 生徒指導グループリーダー)
- 木村 秀樹 (同 管理運営グループリーダー)
- 中村 洋行 (同 地域連携・広報グループリーダー)

1 校長挨拶

2 委員紹介

3 本校関係職員紹介

4 会長挨拶

会長：鈴木委員

5 報告事項《○委員、●学校》

(1) 部会の報告

① 評価部会

○【資料1】(4)については、「4 かなり当てはまる」のみの結果を示したため、別資料にて

「3 ほとんど当てはまる」「4 かなり当てはまる」の割合を示した。設問がややわかりにくいこと、評価が「1 ほとんど当てはまらない」「2 あまり当てはまらない」とした生徒の意見も大切であるとの意見もあったが、教員にはフィードバックがあるとのことであった。

●理科における設問項目「5」他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知らず、自らの考えを広げ深めることができた」については評価が前年と比べて11.7%減となり、今後の課題となった。家庭科と情報では1割以上増となった。特に情報では、前年度の結果を踏まえて授業を改善したことが結果となっている。

②地域連携協働部会

○今年度も引き続きあおば支援学校をはじめ近隣との交流の機会を持たせていただいている。コロナ前の連携を目指したい。

(2) 学校からの報告について(質疑等を含む)

●学校推薦型選抜受験予定者は【資料2】のとおりであり、指定校推薦については前年度と同程度の生徒が受験予定である。内容はGMARCH、東京理科大、横浜市立大などが主となる。公募推薦は、看護、薬学が主であるが、今年度より実施される東洋大の基礎学力テスト型公募推薦が半数以上を占めている。現在、全職員で模擬面接を行っている。一般受験をする生徒が多く、GMARCHを目指すが、その上を目指さない傾向にある。一

番行きたいところを目指すサポートをしたい。東洋大の公募は現在未知数で、今後このような大学が増える可能性も考えられる。

- 修学旅行は9月24日より27日の3泊4日で無事に行われた。2日間を民泊体験、3日目はトレッキング、カヌー、マリン体験などを実施し、4日目は国際通りで過ごした。天候に恵まれ、沖縄らしさを存分に味わえる体験となった。
- 文化祭が9月7日、8日に開催され、一日目は2249名、2日目は3226名が来校（受付を通った人数として記録）された。今年度は電子決済を導入し、生徒の反応は9割以上がよかったとしている。屋外ステージも作り、おおむね好評であった。来年度も引き続き行いたい。
- オープンスクールが本日（10月26日）行われており、14時30分現在で受付は742名を記録している。
- 部活動体験会を昨年度から開催しており、本日が最終日である。前年度の186名から今年度は259名と増えており、ホームページでお知らせするなどより認知してもらえるよう努めていく。
- 第2回学校説明会を12月7日に本校体育館で実施予定。第1回は青葉公会堂で2回にわたり行い、829名来場いただいた。
- 平日の学校見学はホームページで予約を受け付けている。すぐに満席となるが、時期が遅くなると当日来校が少ないという現状がある。改善策を検討すべきである。入学者選抜の倍率が下がってきているため、広報活動も見直し、力を入れていきたい。早淵中学校で広報の機会があるが、私立高校の魅せ方が素晴らしいので、本校も近い広報活動を目指したい。
- 教育相談として毎週木曜日にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーに来校いただき、生徒や保護者に利用いただいている。スクールソーシャルワーカーは外部に繋ぐ役割も持っているが、相談のしやすさや相性など、特に運用は分けせずに予約されている。悩みは生徒、保護者ともに様々であるが、予約の枠は空いており、まだまだ相談者は少なくみられる。
- 修学旅行先が沖縄は、学校によっては宿泊費が厳しいため、関西方面へ行っている。
- 本校も上限は10万円程度であり、52期も沖縄の予定で平和学習を行いたい、予算的にはギリギリである。規模のメリットも助かっているかもしれない。
- 中学校訪問をいただく場合、県教委ではなく直接依頼で大丈夫か。
- ぜひ直接ご連絡を！
- 教員を目指す学生は倍率の低い小学校へ流れ気味のようである。教員のいきいきと活躍する姿を見せてほしい。

- 文化祭の電子決済、PTAにも取り入れたい。
- 経理面で検討する。ぜひ取り入れていただきたい。
- 同窓会から学校の様子がわからないとの声がある。ホームページを見るように薦めてはいるが、部活動の応援などにも行きたい人がいるようである。関東大会以上に進んだ部活は助成金を出せるので、申請してほしい。
- 固い会議ではなく、雑談のような機会があっても良い。文化祭は休むスペースがもっとあれば良いと感じた。ベンチを製作できればと思う。

6 その他